

平成31年度 木古内町当初予算の概要

一般会計は44億5,637万円

港団地建替により、予算規模拡大

平成31年度当初予算編成は、老朽化した港団地の建替を実施するため、前年度から予算規模が拡大しました。

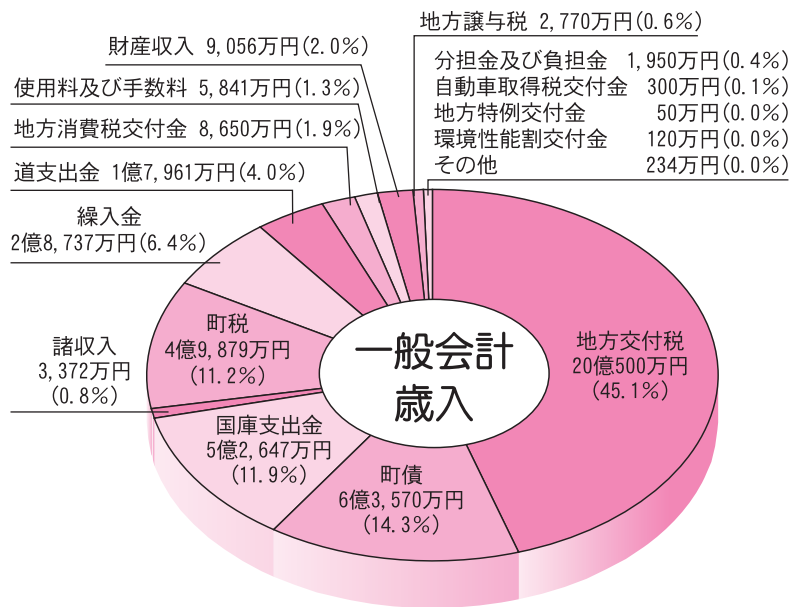
平成31年度予算の内訳は、一般会計が44億5,637万円(前年比+18.9%)で約7億700万円の増額、各事業会計・特別会計の合計は44億4,011万円(前年比+0.6%)で約2,464万円の増額となっています。

歳入

資金不足を補うため、繰入金

平成31年度歳入予算は、港団地建替工事に係る財源を計上したことから、前年度より約7億700万円の増額となる見込みです。基金繰入金金の総額は前年度より8,895万円増額の2億7,401万円となっていますが、このうち資金不足を補うための財政調整基金(貯金)の取り崩しは、前年度より4,019万円多い1億8,081万円となっています。また、町債(町の借金)については、前年度と比較すると2億4,130万円増額の6億3,570万円となっています。

なお、今年度から、消費税増税に伴い自動車・軽自動車の車体課税の見直しが行われることにより、新たに環境性能割交付金120万円が追加されています。

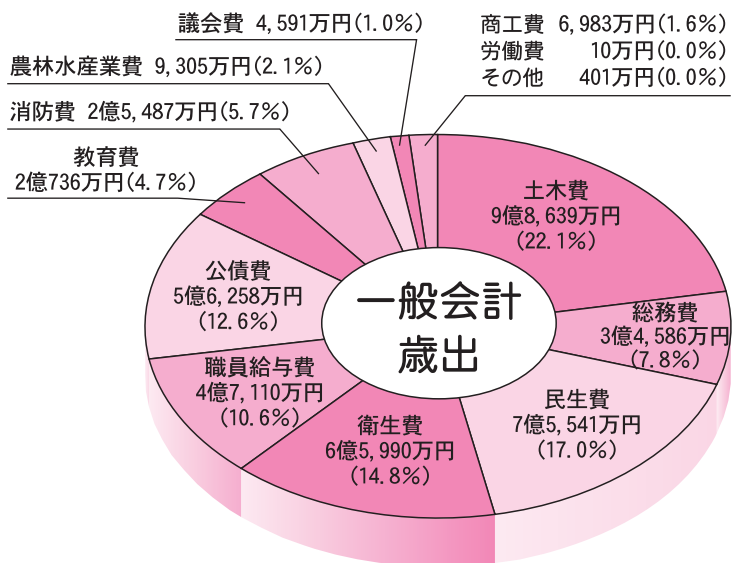


歳入予算額 44億5,637万円

歳出

港団地建替工事、医療費・インフルエンザ予防接種の無償化に係る費用を予算計上

平成31年度歳出予算は、港団地建替工事による格差縮小を目的として、港団地建替工事の増額を計上することにより、前年度より約7億700万円の増額となる見込みです。港団地建替工事の増額は、港団地建替工事の増額を計上することにより、前年度より約7億700万円の増額となる見込みです。港団地建替工事の増額は、港団地建替工事の増額を計上することにより、前年度より約7億700万円の増額となる見込みです。



歳出予算額 44億5,637万円